

令和元年度 事務事業評価シート

事務事業名		商店街活性化アドバイザー					所管	文化産業観光部 産業振興課	
事務事業の概要	行政計画	事業NO.	164	計画事業名	商店街活性化アドバイザー			事業の開始・終了年度	
	長期総合計画体系	[基本目標] 活力にあふれ多彩な魅力が輝くまちの実現 [施策] 36 商店街振興による魅力ある地域づくりの推進					[事業開始] 平成 30 年度		[終了予定] - 年度
	根拠法令等	その他	〔法令等名〕 なし						
	事業対象	直接の対象 : 台東区商店街の届出に関する取扱要領に定める商店街名簿に登録された近隣型商店街 最終的な対象 : 同上							
	事業目的	商店街の活性化を図るため、商店街が抱える様々な問題に対し、商店街活動や、施策に精通した専門人材を派遣し、適切な助言を行うことにより、商店街の再生や活力の維持・向上を図る。							
	事業内容 [H30年度]	<ul style="list-style-type: none"> ・継続訪問型支援: 継続的に商店街を訪問し、商店街が抱える課題の課題の解決に資する指導・助言を行う。(6商店街) ・ヒアリング調査型支援: 商店街が直面する現況の把握を目的に、会長または役員・理事に対しヒアリングによるアンケート調査を行うとともに、必要に応じて指導・助言を行う。(30商店街) 							
	委託の有無	全部委託	委託内容		近隣型商店街にアドバイザーを派遣。活性化に向けた助言・相談支援				
補助金の有無	なし								
事務事業の実績	種別	指標の名称	単位	R2年度	H28年度	H29年度	H30年度		
				目標値	実績	実績	実績	目標値	達成率
	活動指標	支援先商店街数	件	36	-	-	36	36	100.0%
	成果指標								
	決算額 (単位: 千円)				H28年度	H29年度	H30年度		
	事務事業コスト (単位: 千円)	人にかかるコスト (人件費など)				-	-	-	2,645
		物にかかるコスト (物件費・維持補修費)				-	-	-	1,200
		その他のコスト (扶助費・補助費など)				-	-	-	0
		総経費				-	-	-	3,845
	財源項目 (単位: 千円)	受益者負担額 (使用料・手数料・負担金など)				-	-	-	0
その他特定財源 (国や都の支出金・財産収入など)				-	-	-	0		
一般財源 (区負担額)				-	-	-	3,845		
課題及び今後の進め方	商店街の実情に応じたきめ細やかな支援には、商店街とアドバイザーの信頼関係の構築が重要である。コミュニケーションの密度をさらに高め、商店街が実行できるプランになるよう支援していく。								
評価の視点	評価	評価の理由							
	必要性	3	経営者の高齢化や空き店舗の増加など厳しい環境にある近隣型商店街の再生を図るため、商店街の実情に即した専門的かつきめ細やかな支援が求められる。						
	効率性	3	継続的な訪問を希望しない商店街に対しても、アドバイザーによるヒアリング調査を実施し、他事業も含む支援制度や体制を効果的・効率的にPRを行った。						
	手段の適切性	3	近隣型商店街の再生に向けては、役員や会員の方々と共に目標を共有し進む必要があるため、専門人材に委託を行うことで、きめ細やかな支援を図ることができた。						
目的達成度	4	区内の近隣型商店街36か所すべてにアドバイザーが入り、商店街が抱える様々な問題に対し、適切な助言を行うことにより、再生に向けた着手ができた。							
【総合評価】 ※上記4つの視点を踏まえ、事業全体を評価。区民生活への影響を十分考慮すること。						今後の方向性			
本事業は、商店街がアドバイザーを活用して、課題解決に向けた取り組みを着実に進めていくことができる伴走型支援であるため、継続して事業を実施し、活力の低下がみられる近隣型商店街の再生に向け、計画的かつ確実にPDCAサイクルを回転させていく必要がある。						維持		拡大 改善 維持 縮小 廃止・終了	